

お知らせ

○年末年始の神棚のお参り

皆様のご自宅にお伺いし、神棚の前で平成三〇年の家内安全（商売繁盛）祈願祭を執り行います。
 ご希望の方は社務所までお申し込み下さい。



○**どんど焼き**
 一月七日〜一五日の期間内に左記の納めることができるものを、指定の場所にビニールから出してお納め下さい。

★納めることができるもの
 御神札・御守・御神矢・神棚・しめ縄しめ飾り松飾り・おみくじなど神社に関わるもの

★納めることができないもの
 人形・のし袋・衣類・写真・年賀状・仏具・餅・鏡餅のパック・みかん・日用雑貨・不燃物など

※わからない物は電話又はどんど焼き納め所係員にお尋ね下さい。

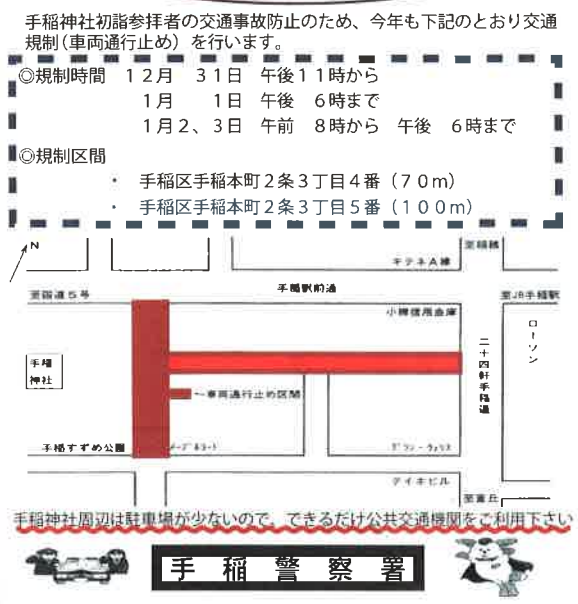
初詣に伴う通行止めのお知らせ

手稲神社初詣に伴う通行止めのお知らせ

手稲神社初詣参拝者の交通事故防止のため、今年も下記のとおり交通規制(車両通行止め)を行います。

◎規制時間 12月 31日 午後11時から
 1月 1日 午後 6時まで
 1月2、3日 午前 8時から 午後 6時まで

◎規制区間
 ・手稲区手稲本町2条3丁目4番 (70m)
 ・手稲区手稲本町2条3丁目5番 (100m)



手稲神社周辺は駐車場が少ないので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい



せのび

手稲神社
 社報第10号
 平成29年
 12月発刊

◎お伊勢さまと手稲神社の御神札をおまつりしましょう。

お伊勢さまは日本を
 お守りくださる尊い神さま

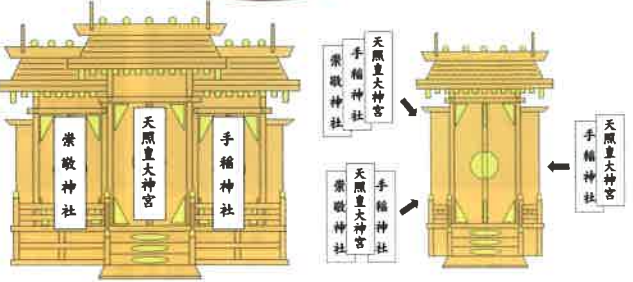
伊勢の神宮は、全国に数ある神社のなかでも特別な存在のお宮で、皇室の御祖神である天照大御神をおまつりしています。
 天照大御神は、太陽の光のようになに私たちの生命を守り、育んでくださる神さまです。お伊勢さまのお神札を「神宮大麻」といい、全国の神社でお頒ちしています。

氏神さまは私たちを
 お守りくださる身近な神さま

日本では古くから、祖先に縁の深い神さまや、地域をお守りくださる土地神さまを氏神としておまつりしてきました。
 おまつりされている神さまは神社によって様々ですが、氏神さまは地域に住む子供の誕生から成長の過程など日々の生活、地域の安全や平穏を見守ってくださっています。



伊勢の神宮



御神札のまつり方

(左) 三社造りの場合 (右) 一社造りの場合

平成三〇年 厄払い祈願祭

一月二七日(土)
 二八日(日)
 二月三日(土・節分)
 四日(日)
 一日(日)

平成12年生	女性	19歳
平成6年生	男性	25歳
昭和61年生	女性	33歳
昭和57年生	女性	37歳
昭和52年生	男性	42歳
昭和33年生	男・女	61歳 (還暦)

※年齢は全て数え年

祈送料	
個人	5,000円
家族(同居)	7,000円

右の表が平成三〇年の厄年でその前・後年生まれの方が前厄・後厄となります。詳しくは手稲区内で一月中旬頃新聞の折り込みチラシが入りますのでそちらを御覧戴るか、当社ホームページを御覧下さい。

平成三〇年は開道一五〇周年

北海道はかつて「蝦夷地」と呼ばれていましたが、明治二年に松浦武四郎が「北加伊道」を含む六つの名前を候補とする意見書を明治政府に提出し、同年八月一五日に太政官布告によって「北海道」と命名されました。そして平成三〇年には北海道命名から一五〇年の節目を迎えます。

○北海道開拓と発展の守護神としての札幌神社
 開拓使判官として島義勇は東京から北海道に渡る際、神祇官から開拓の三神を授けられていました。これは、太政官訓令の中に、石狩に本府を建て、祭政一致の建前から神を祀る事を命令されていたためです。始めは違う場所に仮社殿が建てられましたが、明治四年に現在の位置に社殿を建て正式に札幌神社と社名が決まりました。その後昭和三九年に明治天皇を増祀し、社名が北海道神社と改称されています。



松浦武四郎



島義勇

手稲の開拓移住者は札幌神社(現北海道神宮)を心の拠り所としていましたが、冬季・農繁期の不便を感じ地元小祠を建立し、遙拝するようになりました。明治三〇年札幌神社正式遙拝所として許可され「軽川遙拝所」となり、村民より公認神社設立熱望され、明治三二年に神社公称を許可され「手稲神社」となりました。



昭和初期の手稲神社

手稲神社にはせのび石という石碑があります。このせのび石は、子供の健やかな成長と共に、人々が世にのびる(世のび)ようにとの願いが込められています。この社報を発行するにあたり、より多くの方に手稲神社のことを知って戴けるようにと願いを込めました。

せのび由来

手稲神社

住所 〒061-0022
 手稲区手稲本町二条三丁目四一二五
 電話 六八一-二七六四
 FAX 六八一-七三〇七
 手稲神社ホームページ
<http://teinejinja.com/>

年間の祭事【平成29年】

- 歳旦祭 (元日)
- どんど焼き (1月7日～15日)
- 厄払い (節分前後)
- 春季例祭 (4月5日)
- 夏季例祭 (6月30日)

新年を祝い、皇室の弥栄と国家の隆昌、氏子崇敬者の家内安全を祈念し、この日は大勢の人が初詣に訪れました。



お神札・お守り・正月飾り等を清浄な火でお焚き上げし、神様の御加護に感謝し、一年の無病息災を祈願しました。

古来より厄年は人生の中で節目とされ、様々な面において転機を迎える時であり、何らかの厄難に遭遇する恐れが多い年齢とされています。今年も多くの方が心身のさまざまな災厄を払い清めて、健康と家内安全を祈願しました。尚、厄払いは通年で行っておりますので、ご希望の方は社務所までお問い合わせ下さい。

国家の安泰と五穀豊穰を祈念し、氏子地域の発展・安寧を祈願しました。

始めに午前9時30分より、境内で大祓詞奏上後茅の輪をくぐり、この半年間のうちに付いた罪穢れを払い清める夏越し大祓を行いました。殿内へ移動後、地域の安全を祈る夏季例祭を行い、次に牛馬塔碑の前で手稲地区の開拓に尽くした牛馬の慰霊祭を行いました。そして手稲山頂奥宮に移動し、手稲山及び放送局の関係者が集まり、山頂から見渡す地域の安全と、各放送局の電波安全を祈願しました。



○戦没者慰霊祭 (8月7日) 手稲遺族会の主催で忠魂碑前にて、手稲地区出征の英霊に対し感謝と哀悼の誠を捧げました。また自衛隊OBの隊友会手稲支部の皆様には忠魂碑の清掃奉仕と、当日の参列を戴きました。

○秋季例大祭 (9月18日・敬老の日) 宵宮祭が行われた17日は、ジャズコンサートの賑やかな演奏から始まり、札幌手稲倫理法人会協賛で男性の部はチャンピオンベルトと賞金3万円、女性の部はお米20kgを懸けた腕相撲大会(第4回手-1グランプリ)他が行なわれました。夜の歌謡ショーには手稲区ふるさと大使の伊藤多喜雄と、Softlyが出演しました。翌日の本祭は台風の影響により、残念ながら氏子地域を巡る本神輿渡御と子供神輿は中止し、露天は17日のみとなりました。18日は午前8時より本祭を斎行、その後神賑行事も予定通り行いました。担ぎ手が威勢よく練る江戸神輿だけは雨の中でも行なうことを決めておりましたが、幸いにも午後3時頃になると雨も止み、各地より神輿会の方々に集まって戴き賑々しく渡御を行うことが出来ました。商店街のどじょうまつりも規模を大きく縮小して行われていたもので、人出が心配されましたが境内には次第に人が集まり始め、餅まきの際には例年と変わらないくらい賑わいを見せ、無事宮入しました。夜は稚児舞奉納、NHKのど自慢大会グランドチャンピオンに輝いた小山田祐輝ショーで盛り上がり、そして元ピンクレディーの未唯mieのスペシャルライブは「UFO」「サウスボー」他数々のヒット曲で多くの観客を魅了しました。観客席は安全上の理由から本年も入場制限を行いましたが、それでもその姿を一目見ようと境内には溢れんばかりの多くの人が訪れ、本年のお祭りも事故無く盛大に執り行うことができました。



○七五三祝祭 (10月～11月) 数え三歳男女児(髪置)・五歳男児(袴着)・七歳女児(帯解)が、無事に育っていることに感謝し、益々の健やかなる成長を祈願しました。お祝いのお子さまには特製でいぬくん千歳飴・軍手を差し上げました。

○新嘗祭 (11月23日・勤労感謝の日) 毎年札幌市内及び近郊の神職が春に田植えを行い、秋に刈り取った稲穂を本年も神前に供えました。参列者は今年の収穫を感謝申し上げ、人々が互いに感謝しあいながら勤労を尊びつつ、地域が益々発展することを祈願しました。



奉納・観覧席設置

◎平成二九年九月吉日

小松正博様(施工篤志) 株式会社寿造園様(施工協力)

近年秋季例大祭夜の歌謡ショーは、安全上止むを得ず入場制限を行なっています。出来るだけ多くの方々に楽しんで戴ける様、観覧席を増やすことが出来ないかと思案していたところ、この度御奉納のお話を戴きました。

本年の例大祭は、新しい観覧席も活用し多くの皆様をお迎えすることが出来ました。今後も例大祭をより賑々しく斎行出来るよう努めて参ります。



◎お宝良夢セット

一軒分 初穂料 一、六〇〇円

天照皇大神宮(お伊勢さま)

手稲神社(氏神さま)



歳神さま

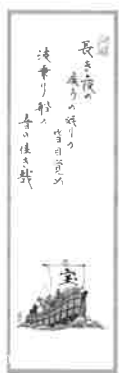
お正月を前にお迎えする神様で、新年の健康と幸福をお授けください。

※年内のみの頒布となります。

夢見札

お宝良夢セットをお受けになられた方には『夢見札』をお頒ち致します。

◎夢見札



ながき夜の

どおのねむりの みなめさめ

疾うの眠りの 皆目覚め

波乗り船の 音の佳き哉

この夢見札を枕元近くに置く事で、良い夢が見られると江戸時代より伝えられており、年末にお受け戴いたこの夢見札で縁起の良い初夢はもちろん、毎日の眠りにおいても、皆様が良い夢を御覧になります事を祈り申し上げます。

人形について

人形にご家族の氏名と年齢をお書きになり、静かなる反省と祈念を込めて身体をなで息を吹きかけて、お祓い料を添えて一二月三十一日迄に神社にお持ち下さい。大祓を斎行し、ご家族皆様の健康を祈願致します。

記入例

山田	太郎	40才
花子	35才	
一郎	10才	

御神札授与所の御案内

▼年内大晦日まで 社務所

《地下では歳の市が開催されています》

※一二月二三日〜三十一日

▼年明け元日より

一五日まで 本殿手前にある授与所



神社豆知識「狛犬」

神社にお参りするご参道の両脇に一對で置かれた石製の狛犬を見かけます。鳥居と並んでまず思い浮かぶもの、狛犬は神社にとって一般的なものは犬ではなく、狐や牛などの場合もあり、狐は稲荷神社、牛は天満宮に見られ、共に祀りされている神様の神使(しんし)・お使い(おんし)とされています。狛犬の表情は様々で、各地の神社を訪れた際に、いろいろな表情をした狛犬を眺めることもお参りをしたお参りの一つになるのではないのでしょうか。